

第 15 回（令和 4 年度 第 2 回）経営評価委員会 議事録

委員：高杉委員長・鹿島委員・木村委員・辻委員・露口委員・吉岡委員（6 名）

【内容】

<議題>

①令和 4 年度第 14 回（前回）の指摘事項及び回答について

指定管理者から「資料 1 令和 4 年度第 14 回（前回）の指摘事項及び回答」について改善策の報告を行った。

（委員長）

改善策について、次回からもう少し具体的に示してもらう方が良い。

（指定管理者）

今後、改善を行う。

②令和 4 年度 運営状況について

事務局から「資料 2 和泉市立総合医療センター運営事業 令和 4 年度運営状況（4 月～12 月）」に沿って報告を行った。

（辻委員）

紹介率について、80%を目指すために、何か方法はあるのか。

（指定管理者）

紹介率は上げていきたいが、医師を確保できても外来の診療スペースに限りがある。また、コロナ患者も含め紹介状がない患者を断ることもできない。紹介患者のみ診察するなど大胆なことをしなければ紹介率 80%は難しい。

（吉岡委員）

診療所、病院別の紹介率の資料等があれば、紹介率を上げるための分析を行うことができるのではないか。

（指定管理者）

次回の評価委員会で資料を提示できればと考えている。

（木村委員）

他の病院と比較する資料等があれば評価する基準が明確になり、評価がしやすくなるのではないかと。

(高杉委員長)

現在は評価をしにくい部分もある。目標数値があれば、その数値に対して評価をすることが出来るのだから、そのような点も考慮して基準を作ってほしい。

(露口委員)

医業損益が前年度と比較して良くなっている要因は。

(指定管理者)

医業費用において、医薬品費についてはジェネリック医薬品で対応し、医療消耗品は徳洲会で統一して使用している安価なものに切り替えるなど経営改善を行った結果、医業損益が良くなっている。

(露口委員)

医業外費用が約 2 億 8,500 万円から 5 億 6,300 万円になっている理由は。

(指定管理者)

新型コロナ補助金の交付通知額を令和 3 年度に収益として計上したが、実績報告が令和 4 年度の期中となり、差額分を医業外費用で処理することとなったことから、令和 4 年度の医業外費用が増加している。また、指定管理者負担金も増加の要因となっている。

(吉岡委員)

コロナ空床補償補助金が計上されているが、現在満床であるのに空床病床がないのではないか。

(指定管理者)

コロナ病床を確保するために、倉庫などの空スペースを活用して、事実上病床数を増床している。

(辻委員)

待ち時間はいつからいつまでの時間なのか。

(指定管理者)

受付機で受付を済ましたのち医師が診察で電子カルテを見た時間となっている。
なお、歯科口腔外科の予約なし患者の待ち時間が 1 時間以上になっているのは、診察ではなく処置に時間を要するため時間がかかっている。また、歯科口腔外科のベッド数を 1 病床増やしたことから、今後は待ち時間は減らすことができると考えている。

(露口委員)

診療科が増加したと聞いているが内容は。

(指定管理者)

令和 5 年 4 月 1 日から「肝臓・胆のう・膵臓外科」「乳腺内科」を増設し、33 診療科から 35 診療科になる。

(露口委員)

診察スペース等がない中で、診療科を増やして対応できるのか。

(指定管理者)

現在の診療スペースの中で工夫をしながら対応する予定である。

(高杉委員長)

医療的なことと言えば、大きな診療科をできるだけ細分化して専門化して対応していくということである。

③令和 4 年度 進行管理 (PDCA) チェックシート兼経営評価シートについて

事務局から「資料 3 令和 4 年度 進行管理 (PDCA) チェックシート兼経営評価シート (4 月～12 月)」に沿って指定管理者の自己評価、市の評価を報告した。

(露口委員)

職員の接遇については、常に評価が 7 となっているが、苦情がなくなるということはない。努力が報われておらず、もっといい評価をしても良いと思う。

(鹿島委員)

これだけ患者数も増えていることから、職員の接遇を含めて患者満足度が高いから患者数も増えている。評価は 7 以上でもおかしくない。

(指定管理者)

患者数が増加していることで、外来ブース等が狭くなっていることもあり、苦情がなくなる現状であるが、引き続き、苦情等が減少するよう努力していく。

(吉岡委員)

災害時医療訓練の参加人数が 45 人である。職員数の割合から見ると参加者が非常に少なく感じるが。

(指定管理者)

新型コロナウイルス感染症の流行していたこともあり、訓練参加者を少なくした。今後は、感染状況をみながら参加人数を増やして行っていく。

(鹿島先生)

待ち時間については、評価 7 となっているが苦情件数も減っていることから 8 で良いのではないかと。コロナ禍の中で苦情が減っているのだから評価すべきである。

また、救急医療については、前年度より約 20%増加している。また、岸和田徳洲会と連携しながら多くの患者を受け入れている。医療センターだけではなく総合的に判断すべきであり、評価 7 は低いと考える。

(木村委員)

待ち時間の基準を苦情件数にするのは疑問がある。待ち時間の資料が今回提示されたのだから、今後はその指標をもとに評価を行うべきである。

(高杉委員長)

指標の取り方については、今後、工夫を行ってほしい。

④令和 5 年度 和泉市立総合医療センター事業計画（案）について

指定管理者から「資料 4 令和 5 年度 和泉市立総合医療センター事業計画（案）」に沿って、事業計画（案）の説明を行った。

(露口委員)

和泉診療所の指定管理者が医療法人徳洲会になったと聞いたが、計画ではその内容は反映させなくてよいか。

(指定管理者)

和泉診療所とは医療の連携は行っていくが、事業体及び会計が別であるため、計画及び評価委員会の資料への反映は行わない。